

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年1月30日朝刊

漆喰文化 次代へ世界へ

松崎・左官W杯 奥深い技と知恵集結



解説を交えて行った国内外の職人によるなまこ壁づくりのデモンストレーション＝松崎町環境改善センター

松崎町の環境改善センターで29日、町伝統の漆喰(しっくい)文化継承に向けた「SAKAN ARTワールドカップ(W杯)」(実行委主催)が始まった。無観客で行い、国内外の左官職人を招いたなまこ壁づくりの実演などを動画投稿サイト「ユーチューブ」でライブ配信した。30日まで。

この日はほかに、元文化庁長官で東京大名

実演では日本左官業組合連合会推薦の職人ら5人が繊細な技を披露した。一部は解説を付け、漆喰素材など基本的な情報に加え、職人ごとに立体感や製作手段が違ふ奥深さも紹介した。出演者で解説も担った同町の中村一夫さん(81)は「なまこ壁は先人が知恵を絞って考え、残してくれた貴重なもの。価値や魅力を発信したい」と腕を振るった。

同W杯は、しずおか民家活用推進協議会など複数の団体の協力を得て初開催した。深沢準弥町長は次回開催を念頭に「町内の職人が減る中で漆喰文化を継承するには外部に価値を伝え、関わってもらう態勢が必要。それがシビックプライドにもつながる」と話した。

菅教授の青柳正規氏の講演などを行った。30日も実演などをライブ配信する。映像はアーカイブ視聴もできる。(松崎支局・十塚裕人)

- ①見出しの「漆喰」は何と読みますか。(しっくい(シッコイ))
- ②写真に見える「壁」を何と呼びますか。(なまこ壁)
- ③写真に見える「壁」の価値や魅力について、記事からわかることを30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

(例) 繊細な技で作られ、職人ごとに立体感や製作手段が違ふ奥深さ。(29字)
先人が知恵を絞って考え、残してくれた貴重な文化。(24字) など

- ④上の見出し「次代へ」、「世界へ」に続く「記事の内容にあった言葉」をそれぞれ10字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

次代へ → つないでいこう／継承していこう／つなげでいきたい など

世界へ → 広めていこう／発信したい／広めていきたい など

年 組 名前